

## 昭和60年度事業記録：特別展記録、講演会記録、修復記録、展覧会貸付作品

雑誌名	国立西洋美術館年報
巻	20
ページ	89-98
発行年	1988-08-31
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1263/00000477/">http://id.nii.ac.jp/1263/00000477/</a>

## Report on the Activities in Fiscal 1985

## 1. 特別展記録 Special Exhibitions



## 点描の画家たち

1985年4月6日~5月26日

主催：国立西洋美術館，朝日新聞社

出品内容：油彩画81点、水彩画10点、グワッシュ1点、素描4点、リトグラフ1点、計97点  
(同6月4日～7月14日 京都市美術館)

## Exposition du Pointillisme

6 April—26 May 1985

Exhibited Works: 81 oil paintings, 10 watercolors, 1 gouache, 4 drawings, 1 lithograph;  
97 works in total

新印象主義の画家たちを中心に19世紀末から20世紀初頭にかけて数多く描かれた点描技法による絵画の全貌を概観した展覧会である。全体は「新印象派の画家たち」、「同時代のフランスの画家たち」、「オランダ、ベルギーの新印象派の画家たち」、「イタリアの分割技法の画家たち」、「フォーヴィスム、キュビズムの世代の画家たち」という5つのセクションに分けられ、さらに参考出品としてスーラとシニャックの水彩、素描、版画作品が加えられた。



## ゴッホ展

1985年10月12日～12月8日

主催：国立西洋美術館，東京新聞，中部日本放送

出品内容：油彩画55点，水彩・素描40点，版画4点，手紙2点，計101点

(同12月19日～1986年2月2日 名古屋市博物館)

## Vincent van Gogh Exhibition

12 October—8 December 1985

Exhibited Works: 55 oil paintings, 40 drawings and watercolors, 4 prints, 2 autograph letters; 101 works in total

国立西洋美術館としては、1976年の企画に続く2度目のゴッホ展であるが、前回の展覧会が出品先をオランダに限ったのに対し、今回は世界各国から作品を借り、出品内容の質・量ともに一層充実した展覧会とした。ゴッホが受けた様々な影響という観点から、全体を「イギリスの要素」、「オランダの要素」、「フランスの要素」、「日本の要素」、「総合」の5つのセクションに分け、カタログでは各セクションの冒頭に序文を掲載するなど、現在のゴッホ研究の成果を展覧会に反映させた。また、関連してシンポジウム「ゴッホ展記念シンポジウム」が開催された（講演会記録の項を参照）。

*Europäische Zeichnungen  
des 15. – 18. Jahrhunderts*  
aus dem Kupferstich-Kabinett Dresden, DDR



レンブラント (アムステルダム近郊の風景)

ドイツ民主共和国ドレスデン版画素描館所蔵 近世ヨーロッパ素描名作展

1986年1月25日～3月9日

主催：国立西洋美術館，ドレスデン版画素描館

出品内容：素描75点

Europäische Zeichnungen des 15.—18. Jahrhunderts aus dem Kupferstich-Kabinett Dresden, DDR

25 January—9 March 1986

Exhibited Works: 75 drawings

ドレスデン版画素描館が所蔵する、15世紀から18世紀までのヨーロッパ素描作品75点の展示。出品内容はドイツ、ネーデルラント、フランドル、フランス、イタリアの各派の作品から成るが、特に北方の画派に重点を置く作品選択を行なった。とりわけ、同館のコレクションの性格を反映して、ドイツ派の素描はルネッサンス、バロックの作品を中心に27点を数え、その素描芸術の発展を概観し得る内容であった。

## 2. 講演会記録 Lectures

### 〈点描の画家たち〉展特別講演会

4月20日

点描の誕生——印象派から新印象派へ

国立西洋美術館研究員 馬淵明子

5月11日

点描とクロワゾニスム

国立西洋美術館学芸誰長 八重樫春樹

ゴッホ展に関しては、国立西洋美術館・東京新聞、中部日本放送の主催により、以下のシンポジウムが行なわれた。

### 〈ゴッホ展〉記念シンポジウム

10月17日～19日（会場：日本プレスセンター）

発表者：有川治男（国立西洋美術館）、ハン・ファン・クリンベン（フィンセント・ファン・ゴッホ美術館）、関府寺 司（アムステルダム大学）、八重樫春樹（国立西洋美術館）、ヨーン・シレフィス（ハーグ市立美術館）、フランソワーズ・カシャン（オルセ美術館）、池上忠治（神戸大学）、ヨハネス・ファン・デル・ウォルク（クレラー＝ミュラー美術館）、匠 秀夫（美術史家）、ジョン・リウォルド（ニューヨーク市立大学）、ロナルド・ビックヴァンス（美術史家）、ローラント・ドルン（マンハイム市立美術館）、高階秀爾（東京大学）、セオドア・レフ（コロンビア大学）

〔発表順〕

### 〈近世ヨーロッパ素描名作展〉特別講演会

1月25日

素描を見る愉しみ

国立西洋美術館長 前川誠郎

#### 4. 修復記録 Restoration

所蔵作品番号／作家名・作品名／材質・寸法

G・1984-15~94

フランシスコ・ゴヤ・イ・ルシエンテス

《ロス・カプリーチョス》(80点連作)

エッチング、アクアティント等 29.5×20.2cm (紙の寸法)

##### 修復前の作品状態

80点の作品は一冊に装丁されている。背の皮革部ならびに各紙葉の綴じ糸部に多量の糊が使用され、また紙葉にしわ、折れ、波打ちが生じている。

各紙葉の間に保護間紙がなく、原画のインクが他の原画の裏面に移転し、汚損を生じている。

##### 修復内容

- I 皮革装丁本の綴じを解体し、各紙本を分離した。
- II 紙本表裏の汚損の除去を、乾燥洗浄にて行なった。

---

所蔵作品番号／作家名・作品名／材質・寸法

P・1959-193

ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ

《ばら》

油彩 カンヴァス 33×41.3cm

##### 修復前の作品状態

オリジナルのカンヴァスは木枠の大きさに沿って張りしろ部分が切除され、画面周辺部を幅4mm被覆するように紙テープが膠糊で貼られている。絵具層表面には、前回の裏打ちの際に画面保護紙の接着に用いた膠糊が残留し、厚く塗りすぎたニスと共に、画面全体の絵具の地肌の隅々に黄変硬化し、固着している。

画面には、絵具層の乾燥に起因する亀裂のほか、盛り上げの高い絵具層の周辺が前回修復時の取り扱いによって地塗りにめり込んだために生じた亀裂や、絵具層が圧力のために地塗りを伴って割れた無数の小欠損(1mm大)が認められる。

この作品には二種類の加筆が認められる。ひとつは中央右に直径15mm大の絵具層の欠損に充填材を用いずに油絵具で盛り上げ加筆したもの、もうひとつは左上隅に白色充填材を用いてテンペラ絵具で加筆したものである。いずれも、オリジナルの絵具層の上に、オーバーフィリング(過充填)およびオーバーペイント(描き加え)がなされていた。

##### 修復内容

- I 黄変したニスを除去した後、絵具層欠損部を接着固定した。残留する膠糊は膨潤させ、顕微

鏡下、メスで削除。同様に、テンペラ絵具の加筆、油絵具の加筆、水溶性の汚損を、各々適切な溶剤を用いて除去した。

- Ⅱ 絵具層の欠損部は、充填材を用いて、作者の意図を再構成するように小筆で塑形した。充填部隔離の後、グワッシュ絵具で補彩し、ニス引き。乾燥後、ニスと油抜きした油絵具で仕上げの補彩を行なった。

---

所蔵作品番号／作家名・作品名／材質・寸法

P・1965-6

ジャン・デュビュッフエ

《ご婦人のからだ》

油彩 カンヴァス 116×90cm

修復前の作品状態

人物部分全体に乾燥による亀裂が生じており、部分的に（5ヶ所）欠損が認められる。

修復内容

- Ⅰ 亀裂部および欠損部の固定。  
Ⅱ 充填塑形および補彩・ニス引き。  
Ⅲ 額縁の補強、額装方法の改良。

---

所蔵作品番号／作家名・作品名／材質・寸法

P・1959-99

アンリ・ファンタン＝ラトゥール

《聖アントニウスの誘惑》

油彩 カンヴァス 63.5×83.5cm

修復前の作品状態

ニスの黄変と、空中飛散物による汚損。小欠損8ヶ所が認められる。

修復内容

- Ⅰ 古いニスの除去。  
Ⅱ 欠損部の充填と隔離を行なった後、補彩・ニス引き。  
Ⅲ 額縁の補強、額装方法の改良。

---

所蔵作品番号／作家名・作品名／材質・寸法

P・1959-155

クロード・モネ

《ウォータールー橋、ロンドン》

油彩 カンヴァス 65.7×100.5cm

#### 修復前の作品状態

画面全体におよぶ汚損が認められ、3ヶ所の極細な欠損がある。

#### 修復内容

- I 表面の洗浄および裏面のほこりの除去。
  - II 欠損部分の固定と充填・隔離を行なった後、仕上げの補彩、部分的なニス塗り。
  - III 額装の改良。
- 

所蔵作品番号／作家名・作品名／材質・寸法

P・1959-105

ポール・ゴーガン

《ブルターニュ風景》

油彩 カンヴァス 89.3×116.6cm

#### 修復前の作品状態

画面に多くの亀裂があり、亀裂部分周辺に、絵具層の反り返り、浮き上がりが認められる。また、画面全体にニスの黄変、汚損が見られる。  
額縁の部分的な浮き上がり、剥落が認められる。

#### 修復内容

- I 絵具層の亀裂、反り返り、浮き上がりの固定。
  - II 表面の洗浄。
  - III 額縁の補修、額装方法の改良。
- 

所蔵作品番号／作家名・作品名／材質・寸法

P・1970-3

カミーユ・コロセ

《ナボリの浜の思い出》

油彩 カンヴァス 175×84cm

#### 修復前の作品状態

作品は木枠の大きさに沿って張りしろ部分が切除されている。絵画裏面の古い裏打ち麻布の保存状態は良好であるが、画面周辺部を幅5mm被覆するように紙テープが膠糊で貼られ、張りしろ部分の麻布と釘とを酸化弱体化させている。また、張りしろ部分各辺四隅に裂けと分離とがあり、画面四隅は波打っている。

木枠の留め・組み・継ぎは、材料と加工が粗悪で、一部損壊し、機能を失っている。



画面の全体に汚損と、ニスの黄変が認められる。また、画面中央上の木の枝を描いた部分に絵具層の小欠損、右下方右縁寄りにも同様な小欠損、さらに下辺右に地塗りを伴う欠損（5×25mm大）がある。

画面左下方に接着剤の流れた跡があり、ニス層を失っている。

#### 修復内容

- I 欠損部を固定し、絵画部は裏打ち布と共に木枠から取り外した。古い裏打ち布を再使用する目的で、張りしろ部分より麻繊維を採取し、東京国立文化財研究所物理研究室長の見城敏子氏に電子顕微鏡写真による分析を依頼。古い張りしろ部分から膠糊や酸化物を除去すれば耐久性が回復することを確認した。
- II 画面裏面の汚損ならびに酸化物を除去し、また画面の波打ちを平面化した。  
張りしろ部の裂けを固定・補強した後、古い裏打ち麻布裏面に、1.5cm幅で縦糸を抜き取った20cm幅の新しい張りしろを接着。新木枠（幅12×厚さ3.5cm）と交換した。
- III 黄変したニスを八分除去。古い加筆の除去によって、画面右下にもうひとつのCOROTの署名（一部削除されている）を確認した。  
欠損部を充填塑形、乾燥後に隔離処理。グワッシュ絵具で補彩し、部分ニスを施した。

〔以上、修復：絵画修復家 河口公夫〕

## 5. 貸付作品 Works Lent Out

### 展覧会名／会期／会場

「シスレー展」

1985年4月18日～5月12日

福岡市美術館

同5月18日～6月30日

奈良県立美術館

### 所蔵作品番号／作家名・作品名

P・1981-4

シスレー 《ルーヴシエンヌの風景》

---

### Claude Monet: Painter of Light

27 April—9 June 1986

Auckland City Art Gallery

22 June—4 August 1986

Art Gallery of New South Wales, Sydney

P・1959-152

モネ 《陽を浴びるポプラ並木》

13 August—29 September 1986

National Gallery of Victoria, Melbourne

---

「親と子で見るフランス名画展」

1985年6月1日～6月23日

姫路市立美術館

同6月29日～7月21日

滋賀県立近代美術館

同7月26日～8月18日

栃木県立美術館

同8月23日～9月16日

千葉県立美術館

同9月21日～10月13日

福井県立美術館

同10月18日～11月10日

大分県立芸術会館

同11月15日～12月8日

長崎県立美術館

P・1983-1

マネ 《花の中の子供》

---

「点描の画家たち」

1985年6月4日～7月14日

京都市美術館

P・1959-127

マルタン 《花と泉水》

P・1959-136

マルタン 《自画像》

P・1959-183

ルノワール 《木かげ》

G・1983-2

シニャック 《サン＝トロベの港》

---

「ジャクソン・ポロックの素描」

1985年8月20日～9月29日

渋谷区立松濤美術館

同10月8日～10月27日

福岡市美術館

P・1965-8

ポロック 《黒い流れ》

---

「絵画の嵐・1950年代」

1985年9月27日～11月26日

国立国際美術館

P・1965-6

デュビュッフェ 《ご婦人のからだ》

---

<p>「ルドンをめぐる巨匠たち」  1985年10月1日～11月10日  岐阜県美術館  同11月16日～12月15日  熊本県立美術館  1986年1月4日～1月26日  広島県立美術館</p>	<p>P・1959-99  ファンタンニラトゥール《聖アントニウスの誘惑》  G・1978-5  ブレダン《急流》</p>
<p>19 October 1985—28 February 1986  Städtische Kunsthalle Mannheim</p>	<p>P・1959-155  モネ《ウォータールー橋，ロンドン》</p>
<p>「ゴッホ展」  1985年12月19日～1986年2月2日  名古屋市博物館</p>	<p>P・1959-193  ゴッホ《ばら》</p>
<p><i>The New Painting: Impressionism 1874-1886</i>  17 January—6 April 1986  National Gallery of Art, Washington  19 April—6 July 1986  The Fine Arts Museum of San Francisco,  M. H. de Young Memorial Museum</p>	<p>P・1959-104  ゴーガン《水浴の女たち》</p>
<p><i>Le chemin de Gauguin</i>  7 October 1985—2 March 1986  (loaned from January 1986)  Musée départemental du Prieuré,  Saint-Germain-en-Laye</p>	<p>P・1959-105  ゴーガン《ブルターニュ風景》</p>
<p><i>Gustave Moreau, Symboliste</i>  14 March—25 May 1986  Kunsthau Zürich</p>	<p>P・1959-196  モロー《牢獄のサロメ》</p>